

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王東小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・ 国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、学習内容の定着がみられます。特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」の思考・判断・表現の部分で高い定着があり、日頃からの継続した取り組みの成果がみられます。一方で「読むこと」において、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付ける部分に課題がみられます。
- ・ 算数の平均正答率は全国よりも低く、いくつかの課題がみられます。特に「思考・判断・表現」に関する問題において、答えやその求め方を式・数や言葉を用いて記述する問題に課題がみられます。また「数と計算」では、分数に関する基礎的な部分に課題があります。一方で、図形の基本的な性質を正確に理解し、それを作図や図形の識別に適切に活用する部分に定着がみられます。
- ・ 理科の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、学習内容の定着がみられます。特に「粒子」を柱とする領域において、問題に対するまとめを導き出す際に、観察・実験の方法を選び取る部分で定着がみられました。一方で実験の条件を制御した解決方法の発想・表現の部分において課題がみられました。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・ **よい傾向がみとめられる項目**
「人が困っている時は、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」について高い数値を示しています。
- ・ **課題となる項目**
「学校の授業時間以外に1日当たり30分以上読書をする」「学校が休みの日に1日当たり2時間以上勉強する」「小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとする」とした児童の割合が、全国に比べて低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・ 各教科で一人ひとりが自分に合った学び方を見つけ、主体的に学習に取り組める「子ども主体」の授業作りを進めます。各自のペースで学べる環境を整え、「わかる」「できる」授業を目指します。
- ・ 国語の「読むこと」の学習では、複数の資料を関連付けて読む活動を取り入れ、必要な情報を見付けて考えをまとめることができるよう取り組みます。また、読書の活動にも継続して取り組みます。
- ・ 算数の学習では、授業中に自分の考えを言葉で説明したり、友達と考えを伝え合ったりする活動を取り入れ、ノートやワークシート等への記述を通して、筋道を立てて表現する力を高められるような学習に取り組みます。
- ・ 理科の学習では、実験の際に「何を変えて、何をそろえるのか」といった視点を明確にしながら実験計画を立てる活動を重視し、グループでの関わりを通して科学的な見方や考え方を育てます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・ 日々の生活の中で読書の時間を確保し、読書習慣が身につくよう、ご家庭での声掛けや環境づくりをお願いします。
- ・ 生活リズムを整え休日にも学習の時間を計画的に設けることで、学習習慣の定着を図ってください。
- ・ その日の学校での出来事や勉強したことなどについて親子で会話をする時間をもち、どう思ったか・どうやって考えたかなどの問いかけを通して、考え方が広がる働きかけをお願いします。